

図1 化石採集・地質調査の道具 左：携帯ルーペ 右：野帳と筆記用具

鯨

いさな

第19号

昭島市郷土資料室
〒196-0012
昭島市つつが丘
3丁目3番15号

アキシマエンシス
国際交流教養文化棟1階
TEL:042-543-1523
FAX:042-542-8002
(昭島市民図書館共通)



昭島市郷土資料室
公式キャラクター
いさなちゃん

化石採集を含む地質調査で活躍する
道具を展示しています！

地層から化石・岩石などを採集し、太古の地球の様子や地層の成り立ち、建物を建てる時の地盤の強さなどを調べることを「地質調査」と呼びます。また、娯楽目的の化石採集も野山、川、海岸沿いなどの地層がある野外にまで行く活動であることから、広い意味で地質調査に含まれます。

地質調査の中で最も大切な道具は何でしょう？その正解のひとつは、「紙」と「ペン」と言われています。

その理由は、人の記憶は徐々に薄れていくため、地層が顔を出している場所（露頭と言います）やみつけた化石や岩石をじっくり観察していく必要があるためです。つまり、観察した岩石や化石の種類、地層の積み重なり方など、その場でわかったことを正確に記録していくことが大切なのです。

地質調査では、「野帳」「筆記用具」「携帯ルーペ」を持参します（図1）。「野帳」は手に持ったまま書きやすく、防水加工の硬い表紙が特徴であり、野外での記入ができます。また、石に含まれている小さい化石や鉱物を観察する時は、拡大してみることができる携帯ルーペが便利です。

昭島市郷土資料室では、令和七（二〇二五）年七月二十九日～十月二十六日にかけて企画展「フイールドのお供！化石・地質調査の道具展」を開催しています。当企画展では、地質調査で使われている道具を展示しているほかに、安全第一に調査する上で注意するべきことなどを紹介しています。

展示中の「野帳」「筆記用具」「携帯ルーペ」は、化石や地層について学習する上で、実は一番重要といえる「化石や石をじっくり観察する大切」を伝えるためのモノです。

企画展を通して、化石採集を含む地質調査の魅力と、それらを安心安全に楽しむために心得ていること、工夫していることについて触れていただければ幸いです。

令和七年度 十月～十二月のおもな展示・イベント予定

◎企画展示「『フィールドのお供』化石・地質調査の道具展」

展示期間…令和七年七月二十九日(火)～令和七年十月二十六日(日)
展示内容…化石採集や地質調査で使用する道具を中心に展示します。

◎企画展示「『新指定有形文化財を紹介！』『和田哲氏寄贈資料一括』を見る」

展示期間…令和七年十月二十八日(火)～令和八年二月一日(日)
展示内容…令和七年五月十三日に市の有形文化財(考古資料)に指定された「和田哲氏寄贈資料一括」の一部を展示します。

イベント「戦跡ツアー」戦後80年昭島の戦跡

開催日時…十月四日(土)午後一時三十分～四時
内容…中神周辺の戦跡を約二時間半かけて徒歩で巡ります。
講師…三村章氏(昭島市教育委員会近代史調査員)
対象…どなたでも/定員…二十五名(申込順)
会場…中神駅に集合し、成隣小学校で解散
参加費…無料 ※定員に達したため申し込みは終了しました。

イベント「大日堂境域および日吉神社境域」見学会

開催日時…十一月三日(月・祝)午前十一時三十分～午後一時三十分
内容…大日堂の木造大日如来坐像ほか二躯(都指定有形文化財)の御開帳に合わせて大日堂および日吉神社の境域を案内します。
対象…どなたでも
会場…大日堂および日吉神社境域
参加費…無料/事前申込不要

昭島市郷土資料室の展示やイベントの最新情報は、
アキシマエンスのホームページ
(https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html) または
アキシマエンス公式X (@akishima_ensis) で見ることが出来ます。

Xはこちら

ホームページはこちら



利用案内

○開室時間

昭島市郷土資料室

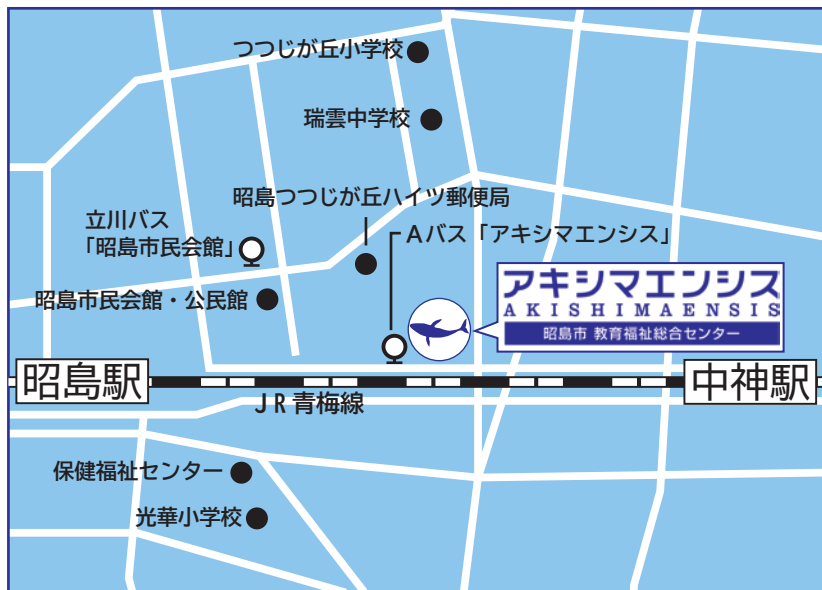
火曜日～金曜日
土・日・祝日
午前10時～午後8時
午前10時～午後6時

郷土資料展示室

(見学を希望される方は郷土資料室のスタッフにお声がけください)

○休室日

月曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始、特別整理期間



○交通アクセス・アクセスマップ

JR青梅線 昭島駅・中神駅より徒歩10分

立川バス(昭22、昭23、昭23-2・昭24、昭26、拝13)
「昭島市民会館」下車徒歩5分

Aバス(北ルート) 「アキシマエンス」下車すぐ